

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	芸術 (美術)	
科目基礎情報							
科目番号	1113		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電子システム工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	永井 崇幸						
到達目標							
1. 基本的な描写力を養うことができる。 2. イメージを連鎖させる発想力を養い、伸ばすことができる。 3. 言葉では表現できないことを感じる美意識を深めることができる。 4. 写実描写、構想画、デザイン画などの絵画表現や鑑賞を通して、豊かな感性と心情を養うことができる。 (B2-1等)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	対象物をよく観察し、形、質感が良く表現された描写ができてい		対象物を観察し、形、質感の描写ができてい		対象物の観察があまく、形、質感の描写が不十分である。		
評価項目2	自発的にイメージを連鎖をさせて、豊かな発想を湧かせて作品に表現することができてい		イメージを連鎖をさせて、作品に表現できてい		イメージの連鎖が乏しく、発想をまとめることができない。		
評価項目3	作品から視覚芸術の魅力を感じることができ		作品から視覚芸術の魅力を感じさせようと努力してい		作品から視覚芸術の魅力を感じない。		
評価項目4	独自の創造性を感じさせる作品であり、完成度の高い制作を楽しむことができてい		創造性を感じさせる作品であり、制作を楽しむことができてい		創造性を感じさない作品であり、制作を楽しむことができていない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	発想力を養い、イマジネーションを膨らませ、人にわかりやすい視覚的な表現ができる力を養う。そして、写実描写、構想画、デザイン画などの絵画表現や鑑賞を通して、創造力を伸ばし、豊かな感性と心情を養う。言葉では表現できないことを感じる美意識を深める。						
授業の進め方・方法	イメージの連鎖を学び、相対し比較することでその本質を見定める発想力を養う。イメージを膨らませて自己の表現を追求させる。						
注意点	課題に興味を持たせることが重要である。参考作品を掲示して、完成度を高めさせる。 指示指令での制作でなく、自分の表現したい内容を持たせることが重要。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス デッサン	ペンを持った手の	鉛筆で明暗を付け、立体感と質感を表現する。 E6: 1 B2:1		
		2週	デザイン・構想画 く(1)	記憶の絵地図を描	幼少期における遊びの原体験を絵地図として表現する。 。楽しいイメージとなるように下描きをする。E6: 1 B2:1		
		3週	デザイン・構想画 く(2)	記憶の絵地図を描	あらゆる表現方法を用いて、着色をする。E6: 1 B2:1		
		4週	デザイン・構想画 く(3)	記憶の絵地図を描	着色、文字を書き込み、完成させる。E6: 1 B2:1		
		5週	色彩表現・デザイン 表現(1)	楽しい・悲しいの	色彩の学習をし、言葉では表現できない感覚的なことが 視覚的に表現できることをする。E6: 1 B2:1		
		6週	色彩表現・デザイン 現(1)	暖かい・寒いを表	アイデアと下書き。正方形を二分割して「寒い」「暖かい」 イメージを表現する。E6: 1 B2:1		
		7週	色彩表現・デザイン 現(2)	暖かい・寒いを表	着色し完成。相反する要素をイメージすることは、相互の 表現をより明確化させる。E6: 1 B2:1		
		8週	色彩表現・鉛筆描写 (1)	重い・軽い表現	アイデアと下書き。鉛筆描写を進める。E6: 1 B2:1		
	2ndQ	9週	色彩表現・鉛筆描写 (2)	重い・軽い表現	鉛筆描写を完成させ、着色する。E6: 1 B2:1		
		10週	色彩表現・鉛筆描写 (3)	重い・軽い表現	着色。色彩の明度差が軽重感に深くかかわっていることを 理解する。E6: 1 B2:1		
		11週	精密描写 (1)	空き缶を描く	精密に描こうとする対象物「缶」がどのように出来てい るかを検証し、基本的な描き方を知る。E6: 1 B2:1		
		12週	精密描写 (2)	空き缶を描く	対象物をよく見て形をとる。対象物をよく観察し、縦横の 比率を間違わないようにする。E6: 1 B2:1		

後期		13週	精密描写 (3)	空き缶を描く	立体感を表現し、ロゴも円柱に書かれていることを理解しながら描く。E6: 1 B2:1
		14週	精密描写 (4)	空き缶を描く	着彩、淡彩表現をする。薄く塗り重ねることで色を徐々に濃くする。E6: 1 B2:1
		15週	精密描写 (5)	空き缶を描く	着彩、淡彩表現をし、完成させる。E6: 1 B2:1
		16週			
	3rdQ	1週	構想画・はめ絵 (1)		テーマに沿って下書き。外形を生かしてデザインする。E6: 1 B2:1
		2週	構想画・はめ絵 (2)		下書きを仕上げる。生き物は精密な描写をする。E6: 1 B2:1
		3週	構想画・はめ絵 (3)		着彩をはじめ。単調にならないように配色する。E6: 1 B2:1
		4週	構想画・はめ絵 (4)		着彩。色の持つイメージを理解し、適切な配色をする。E6: 1 B2:1
		5週	構想画・はめ絵 (5)		着彩し、完成させる。E6: 1 B2:1
		6週	構想画 (1)	未来都市の空間	イメージをまとめる。自分の思う未来がどうであるかを資料を参考にしてみとめる。E6: 1 B2:1
		7週	構想画 (2)	未来都市の空間	下描きを仕上げる。自分のイメージを整理して表現する。E6: 1 B2:1
		8週	構想画 (3)	未来都市の空間	着彩。塗り重ねて写実感を表現する。デザイン的な表現は、むらなく着彩する。E6: 1 B2:1
	4thQ	9週	構想画 (4)	未来都市の空間	着彩。混色し、不透明絵具を混ぜることで豊かな色彩表現ができる。E6: 1 B2:1
		10週	構想画 (5)	未来都市の空間	着彩し、完成させる。E6: 1 B2:1
		11週	自由制作 (1)		自己のイメージを表現するために、構想を練り、下描きをはじめ。E6: 1 B2:1
		12週	自由制作 (2)		下描きを仕上げる。自分のイメージを整理して、どのような絵画表現が適切であるかを決定する。E6: 1 B2:1
		13週	自由制作 (3)		着彩。E6: 1 B2:1
		14週	自由制作 (4)		着彩。E6: 1 B2:1
		15週	自由制作 (5)		着彩して、完成させる。E6: 1 B2:1
		16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	実技	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	90	0	10	0	0	100	
基礎的能力	0	90	0	10	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	